



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore

シンガポールの政策 港湾政策編

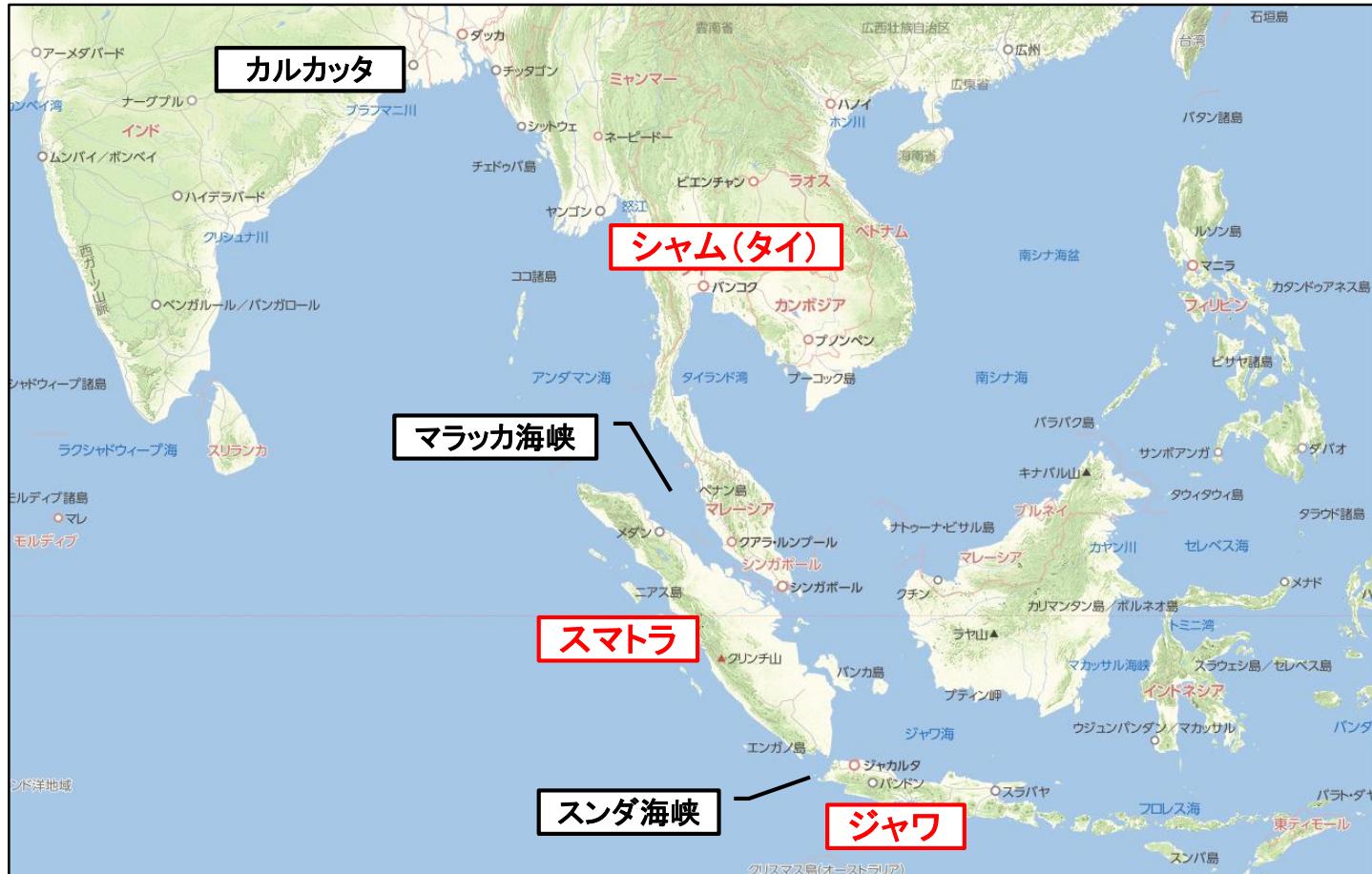
一般財団法人自治体国際化協会 シンガポール事務所

1. 港湾都市としての成り立ち



■ 地理的優位性

- ・南半球の貿易風が合流する地域であり、アジアとヨーロッパを結ぶ航路上にある
- ・元来台風などの自然災害のリスクが低く、植民地時代にオランダ・ポルトガルの影響下になかった



1. 港湾都市としての成り立ち

年月日	シンガポール	日本
1819年1月28日	英國東インド会社のスタンフォード・ラッフルズ卿の上陸	1639-1853年 鎖国
1824年	英國、ジョホール王国からシンガポールを委譲	1858年 長崎、横浜 および函館を開港
1942年2月15日	日本軍占領、昭南島と改称(昭南特別市設置)	
1945年9月5日	日本軍降伏 → 12日、日本から再び英國の支配下へ	1945年 連合軍による4軍港と2国際港の接收
1959年6月3日	シンガポール、外交と国防を除く自治権をイギリスから獲得	
1963年9月16日	マレーシア連邦の一州として英國から完全独立	1950年 港湾法成立
1964年4月1日	シンガポール港湾庁(PSA)が設立	1960年代 コンテナターミナルの整備が進む
1965年8月9日	マレーシアから分離独立、シンガポール共和国が誕生	
1972年	東南アジア初となるコンテナターミナルが完成	1990年代 國際的な地位低下
1990年	コンテナの取扱量が初めて世界一になる	

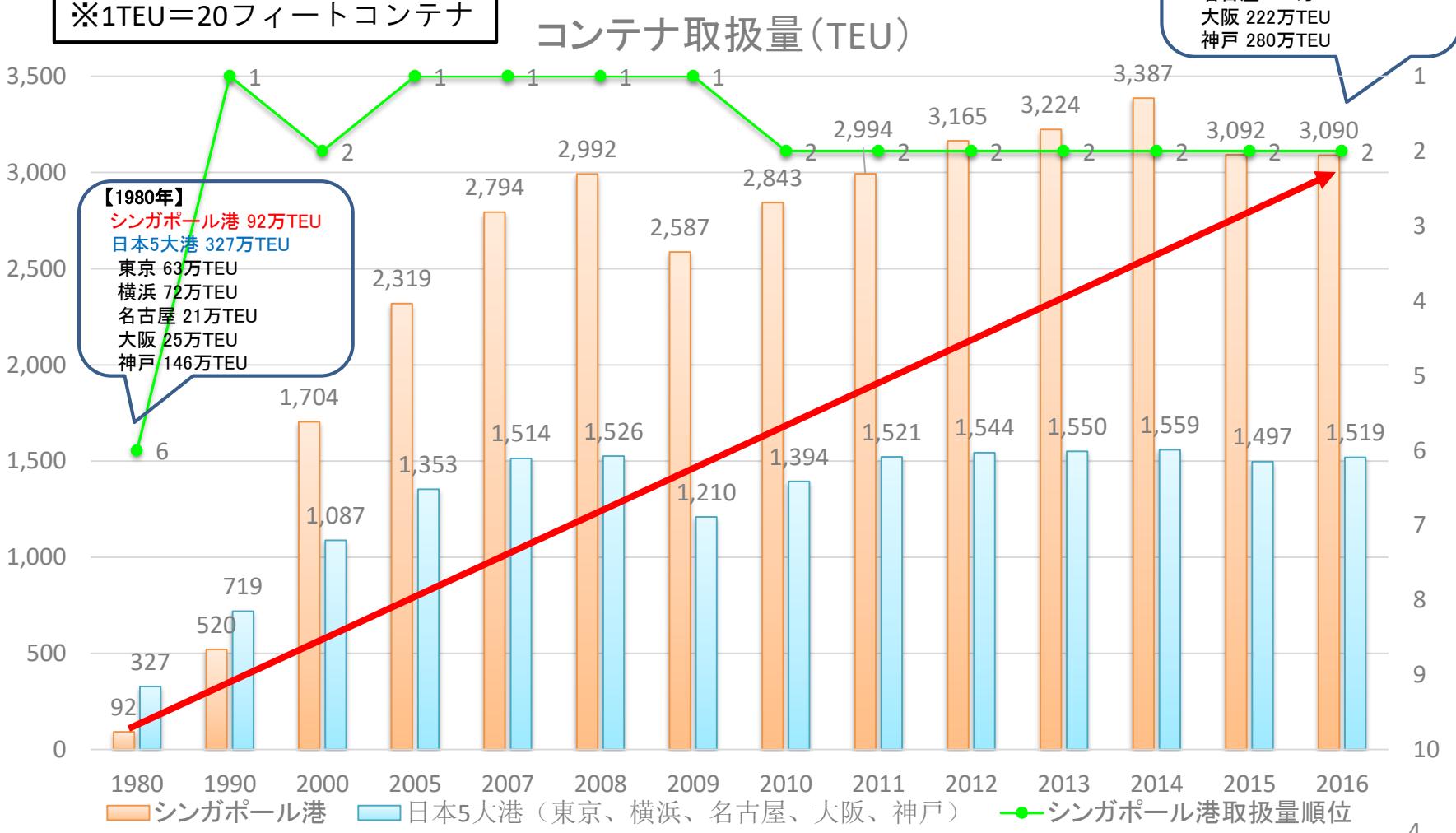


2. 貨物取扱量の推移



■シンガポール港と日本主要5大港の 貨物取扱量の比較

単位：万TEU（貨物量単位）
※1TEU=20フィートコンテナ



2. 貨物取扱量の推移



■ 貨物取扱量の世界 上位10港

単位：万TEU（貨物量単位）

※1TEU=20フィートコンテナ

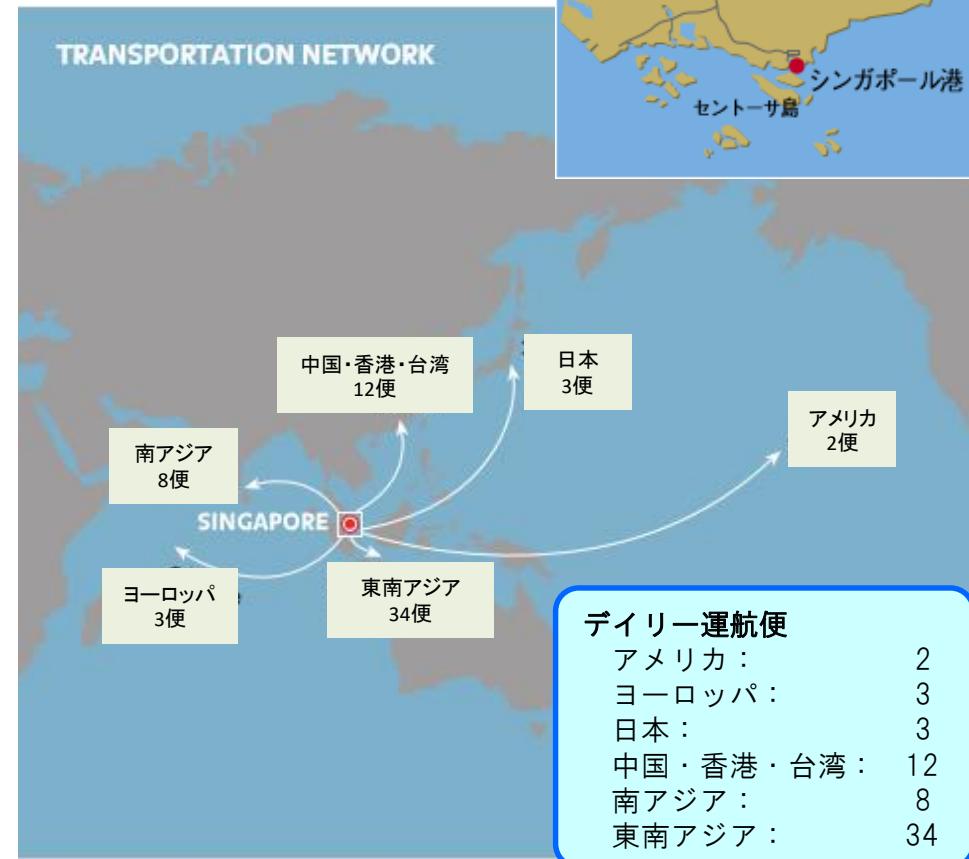
順位	1980年		1990年		2000年		2005年		2010年		2016年	
	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量
1	NY/NJ	195	シンガポール	520	香港	1,810	シンガポール	2,319	上海	2,907	上海	3,713
2	ロッテルダム	190	香港	510	シンガポール	1,704	香港	2,260	シンガポール	2,843	シンガポール	3,090
3	香港	147	ロッテルダム	368	釜山	754	上海	1,808	香港	2,370	深圳	2,398
4	神戸	145	高雄	350	高雄	743	深圳	1,620	深圳	2,251	寧波	2,156
5	高雄	98	神戸	260	ロッテルダム	628	釜山	1,184	釜山	1,419	釜山	1,985
6	シンガポール	92	釜山	236	上海	561	高雄	947	寧波	1,314	香港	1,958
7	サンファン	85	ロサンゼルス	212	ロサンゼルス	488	ロッテルダム	925	広州	1,255	広州	1,889
8	ロングビーチ	83	ハンブルク	197	ロングビーチ	460	ハンブルク	809	青島	1,201	青島	1,800
9	ハンブルク	78	NY/NJ	190	ハンブルク	425	ドバイ	762	ドバイ	1,160	ドバイ	1,477
10	オークランド	78	基隆	181	アントワープ	408	ロサンゼルス	749	ロッテルダム	1,115	天津	1,450

3. シンガポール港の概要

■ シンガポール港

およそ123カ国600の港と結ばれている世界最大級のハブ港

- ①総面積：769ha（東京ドーム約164個分）
- ②岸壁延長：20,180m
- ③最大水深：18m
- ④コンテナバース数：62か所
- ⑤RO-RO船バース数：3か所
- ⑥コンテナ用クレーン数：223基
- ⑦貨物取扱能力：4,200万TEU
- ⑧運営：PSAインターナショナル



3. シンガポール港の概要



世界の港湾都市ランキング (2017)

総合世界1位 (2017年)

- 1位 シンガポール
- 2位 ハンブルク
- 3位 オスロ
- 4位 上海
- 5位 ロンドン
- 6位 ロッテルダム
- 7位 香港
- 8位 東京
- 9位 コペンハーゲン
- 10位 ドバイ
- 11位 ニューヨーク
- 12位 アテネ
- 13位 釜山
- 14位 ヒューストン
- 15位 広州

- 積み替え・出荷センター機能 1位
- 港湾物流機能 1位
- 魅力・競争力 1位

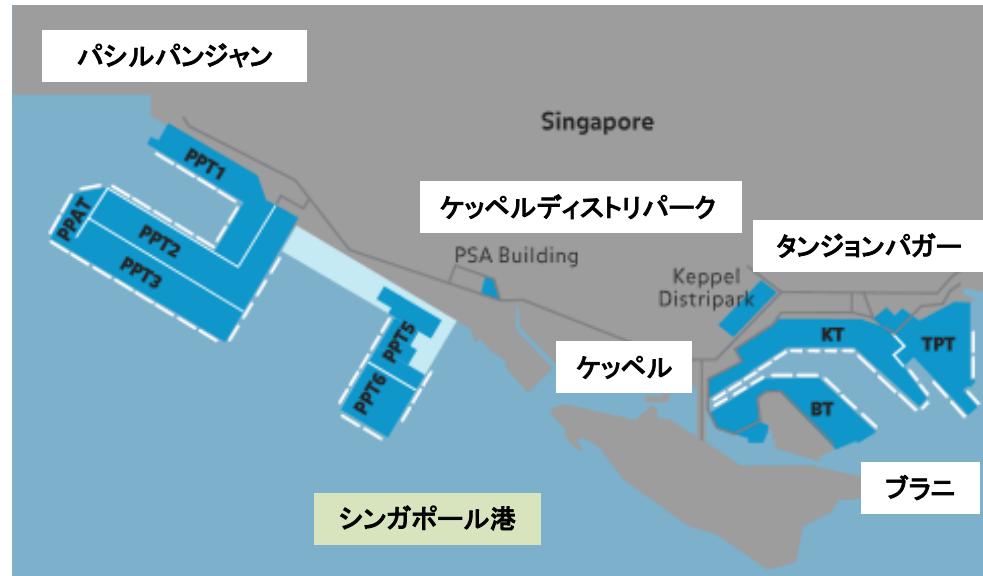


出典: THE LEADING MARITIME CAPITALS OF THE WORLD

4. 4つの主要ターミナル



■各ターミナルの位置



■各ターミナルの概況

※自動車専用ターミナルも含む

ターミナル名	タンジョンパガー	ケッペル	ブラン	パシルパンジャン
面積	79.5ha	102.5ha	84ha	503ha
岸壁延長	2,100m	3,200m	2,400m	12,600m
最大水深	14.8m	15.5m	15m	18m
コンテナバース数	7	14	8	33
クレーン数	19	37	33	134

出典: PSA Websiteの情報を基に作成

5. 港湾管理組織の沿革



- 1863年 中国人実業家であったタン・キム・チング (Tan Kim Ching) がタンジョンパガードックカンパニーを設立し、2隻の蒸気船とともに営業を開始。
- 1964年 タンジョンパガードックカンパニーを前身とする、シンガポール港湾庁 (PSA : The Port of Singapore Authority) が設立。
- 1997年 海事、港湾業務の監督などの機能を海事港湾庁 (MPA : Maritime and Port Authority) に移管し、港湾ターミナル及び施設の運営を担う株式会社PSAコーポレーションとして民営化。
- 2003年 政府系投資会社のテマセク・ホールディングスが全額出資する、PSAインターナショナルが設立され、株式会社PSAコーポレーションはその子会社となった。

6. 港湾整備とサービス



The Japan Council of Local Authorities for International Relations, Singapore

PSAインターナショナルによる
港湾サービス

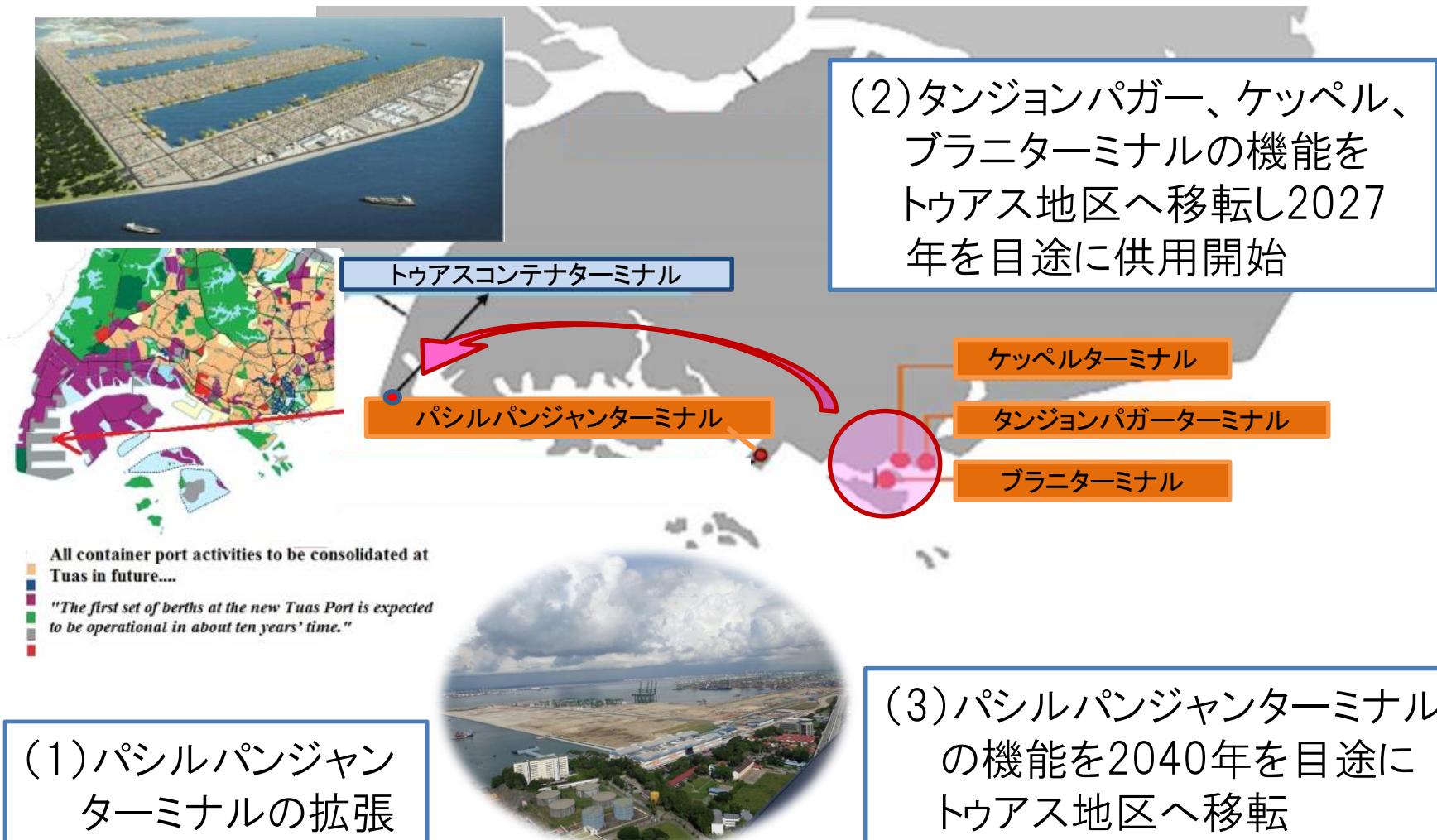


TRADE NET(政府機関と連動した通関システム)

PORT NET(海運事業者向けの商取引システム)

CITOS(ターミナル操作管理システム)

7. 今後の展望（政策概要）



～ ご清聴ありがとうございました ～

E N D



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore